

会 議 録

1 会議名

第2回上越市6次産業化推進会議

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 上越市6次産業化推進戦略（案）について（公開）

3 開催日時

平成30年3月23日（金）午後3時から

4 開催場所

上越文化会館4階 小会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：辻勉（代理出席 岩島利恵）、岩崎健二、平澤栄一、吉田進一、新谷梨恵子、真貝文行、桃澤靖

・事務局：農村振興課 古澤課長、伊藤係長、岩淵臨時職員

8 発言の内容

(1) 上越市6次産業化推進戦略（案）について

事務局から資料1、2、3に基づいて説明を行った後、会長が6次産業化戦略案に対して、委員から自由な発言を求めた。

(真貝文行)：6次産業化のことなので「推進体制」の「農林水産物の販売を行う事業者」のところは、「加工」という言葉を付け足したほうがよい。

(岩崎健二)：「庭先集荷サービス」については、是非、継続をお願いしたい。ただし、集荷物が加工品の場合、その日に行ってすぐ売れるわけではない。商品期限の確認や商品性のクオリティのチェックが必要になり、他人任せになってしまう。集荷する人が品質、賞味期限などしっかり保っているかを確認することが必要である。

野菜の場合だと、運ぶ人が次の日に来て残っていたらすぐに生産者に返せるが、加工品など長い賞味期限の場合はサービスを請け負った者がその後、賞味期限等を管理していくとは考えにくい。

(新谷梨恵子)：「庭先集荷サービス」の集荷は常温車だと思うが、加工品となるとやはり冷凍車、冷蔵車が必要になってくると思う。この点について、6次産業化と結びつけることに疑問に感じた。生協や学校給食の場合、輸送の段階で冷蔵車かどうかなど厳しく見られる。「庭先集荷サービス」は地域のものを集めて販路開拓のするためにあるものであって、6次産業化の事業の将来像としてはイメージしにくい。

(事務局)：可能性として「庭先集荷サービス」を検討、記載したが、委員の皆さんの意見から、品質などの関係で6次産業化への広がりには難しいと感じた。

(平澤栄一)：今現在、中山間地では激しく農地の耕作放棄が進んでおり、野菜を作る人も減ってきている。昔から、どの農家も漬物などの加工品を作っているのですでに6次産業化に近いことはされている。ただ、それが自家消費の部分で止まってしまっている。そのような農家に対して、あるるん畑のような直売所は、野菜を受け入れてくれるのでとてもいい施設だと思う。あるるんのような所が2つ、3つ拠点として上越市の中にあると近くの農業者が6次産業化にも興味を示すのではないかな。

(岩島利恵)：農産物を作ることのメリットがはっきりしていると農業への関心が湧くのではないかな。素人からすると農産物を作りたいと考えたときに、作った先にあるものがわからないと結局行き詰まってしまう。「雪室野菜」なら「雪室野菜」のように具体的に的を絞って、地域で道筋をつけることが必要なのではないかな。

(岩崎健二)：あるるんの杜の事業で「雪室人参ドレッシング」を作った。現在完売に近い状態にあり人気があるが、原料を生産するのは農家、商品を開発するのはJAと役割分担して行ったことが商品化できた要因でもある。

(岩島利恵)：飲食店と連携して自家農園で作った野菜をレストラン等で加工してもらって、お客さんに出して食べてもらい、意見をいただくような流れでようやく商品化を実現していけるのではないかな。加工品を作るにしても、初めはどうし

ていいかわからないと思う。

(岩崎健二)：商品が増えてくればブランド力もついてくる。あるるんの杜を設置した目的と似ているが、農産物を作る農家が減らないように5人いたら組織化を支援したり、農地が荒れないように担い手が育つように生産対策をしてきた。販売対策ができない農家は、そのかわり加工と販売をJAがセットで行うという施策の推進と農業振興、園芸作りをこの3、4年行ってきた。

(新谷梨恵子)：農家は安心して作りたいという思いが強いので、売り先、買い取り先がなければすぐにやめてしまうのではないか。

(平澤栄一)：若い人たちの農業離れが最近目立つが、農業高校などへのアプローチはしているのか。若い人をターゲットに行政や農協が力をいれてアピールしていかなければいけないと思う。

(桃澤 靖)：去年初めて、市内就農を目的に、高田農業高校の生徒と市内の農業経営者との交流会をオーレンプラザで行った。30年度からは授業の一環として2年生を対象に交流会を行う予定であり、市内の就農者を増やす取組を行っていきたい。

(平澤栄一)：そういうイベントを通して農業を身近に感じてもらい、若い人たちに農業の楽しさを教えることはとても大事なことだと思う。

(桃澤 靖)：「庭先集荷サービス」の記載について、事務局はどう取扱うか。

(岩崎健二)：補佐的な事業のイメージがあるため、事業展開に結びつくとは考えにくいので難しいところではあると思う。

(事務局)：皆様のご意見から、「庭先集荷サービス」に関する記載は、削除する方向で進めたい。また、北陸農政局からの意見の反映を再度確認いただいている状況でもあり、その他の修正の可能性もあるが、今後の反映の内容については、会長に一任していただきたいと考えるがどうか。

(桃澤 靖)：今後の戦略の修正に関しては、私に一任していただくということでよいか。

(委員全員が会長の意見に賛同)

以上で審議が終了。最終版は完成次第、後日送付するという事で会議は終了した。

9 問合せ先

農林水産部農村振興課農産係

TEL:025-526-5111(内線 1812)

E-mail:nousonshinkou@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別紙の会議資料も併せてご覧ください。